

FP2650-T41 取扱説明書

警告 安全に関する使用上の注意

FP2650-T42（以下、FP と称します）を安全に使用していただくために以下の指示に必ず従ってください。

- ・ 電源ケーブル取り付け時は、感電の恐れがありますので電源が供給されていないことを必ず確認して取り付け作業を行ってください。
- ・ バックライトの交換作業時、感電およびやけどをする恐れがありますので、必ずFPの電源を切り、手袋着用のうえ作業を行ってください。
- ・ FPを解体・改造しないでください。火災や高電圧による感電の恐れがあります。
- ・ 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災、感電の恐れがあります。
- ・ 可燃性ガスのあるところでは使用しないでください。爆発の恐れがあります。
- ・ 傷害・重大な物的損害や生産停止の原因となり得る重要な警告装置としてFPを使用しないでください。重要な警告表示および警報に関わる制御装置は、独立し冗長性のあるハードウェアが、機械的インターロックによって構成してください。
- ・ 装置の安全性にかかわるタッチスイッチを、FP上に設けないでください。非常スイッチなどの安全性に関わるスイッチは、別システムのハードウェアスイッチを設けてください。
- ・ バックライトが切れると、画面が真っ暗になり表示が見えなくなりますが、「AUTO OFF DSP」機能作動時と異なり、タッチスイッチの入力は有効なままです。操作者がバックライト消灯状態と間違えてタッチパネルを押した場合、不当なタッチパネル操作となる恐れがあります。不当な操作による人的・物的損害が生じる恐れのあるタッチスイッチをFP上に設けないでください。
バックライトが切れた場合は以下のような現象が発生します。
 - ユーザーアプリケーションまたはAUTO OFF DSP機能を設定していないのに画面の表示が消える
 - ユーザーアプリケーションまたはAUTO OFF DSP機能を設定していて画面の表示が消えた際に、一度タッチしても表示が復帰しない
- ・ FPとホストコントローラとの通信異常で機械が誤動作しないようにシステム設計を行ってください。人体に傷害を負ったり、物的損害の恐れがあります。
- ・ FPは航空機器、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、生命の維持に関わる医療機器などの極めて高度な信頼性・安全性が求められる用途への使用を想定しておりません。これらの用途には使用できません。
- ・ FPを運送機器（列車、自動車、船舶等）、防災防犯装置、各種安全装置、生命の維持に関わらない医療機器などの、機能・精度において高い信頼性・安全性が求められる用途で使用する場合は、組み込まれるシステム機器全般として、

冗長設計、誤動作防止設計等の安全設計を施す必要があります。

故障しないために

- ・強い力や堅い物質でFPの表示部を押すと、表示部が割れ危険ですので押さえないでください。
- ・FPの周囲温度は、仕様の範囲内で使用してください。範囲外で使用すると、故障の原因となります。
- ・FPの内部に水や液状のものや金属を入れないでください。故障や感電の原因となります。
- ・温度変化が急激で結露するような場所での使用は避けてください。故障の原因となります。
- ・FPの温度上昇を防ぐため、FPの通風孔をふさいだり熱がこもるような場所での使用は避けてください。また、高温下での保管や使用は避けてください。
- ・FPを直射日光に当たる場所やほこりの多い場所での保管、および使用は避けてください。
- ・FPは精密機器ですので衝撃を与えたり、振動の加わる場所での保管、および使用は避けてください。
- ・薬品が気化し、発散している空気や薬品が付着する場所での保管、および使用は避けてください。
- ・FPの本体およびディスプレイはシンナーや有機溶剤で拭かないでください。
- ・FPの電源OFF後、電源を再投入する場合は、一定時間おいてからONにしてください。正常に起動しない場合があります。

UL/c-UL/CSA 認定について

FP2650-T41 は UL/c-UL(CSA)製品認定品です。(UL File No.E171486)

FP2650-T41 (UL 登録型式:3384101-01)

FP は以下の規格に適合しています。

■**UL6095-1** (First Edition)

(電気式事務機器を含む情報技術機器の安全性に関する規格)

■**CAN/CSA-C22.2, No.60950-1-03** (c-UL 認定)

(電気式事務機器を含む情報技術機器の安全性に関する規格)

注意事項

FP を組み込んだ機器を UL/CSA 申請する際は、以下の事項にご注意ください。

- ・FP の背面部はエンクロージャとして認定されていません。FP は機器に組み込み、機器全体として規格に適合するエンクロージャを構成してください。
- ・FP は室内専用機として使用してください。
- ・自然空冷の場合、FP は垂直なパネルに取り付けてください。また、背面部周囲の空間は全方向に 100mm 以上空けてください。この条件が満たされていないと、FP の内部部品の温度上昇が UL 規格の要求を満たさなくなる可能性があります。
- ・FP を組み込んだ機器は、FP との組み合わせの適合性が UL によって審査されなければなりません。

CE マーキングについて

FP2650-T41 は EMC 指令に適合した CE マーキング製品です。

< 適合している規格 >

Safety

EN60950-1

EMI

EN55011(Group 1 Class A)

EMS<EN61000-6-2>

EN61000-4-2、EN61000-4-3、EN61000-4-4、EN61000-4-5、EN61000-4-6、
EN61000-4-11

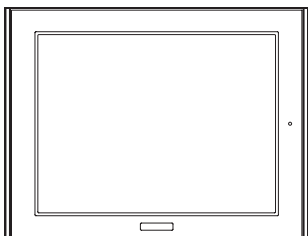
以下の条件が満たされていないと、FP が EN60950-1 の要求を満たさなくなる可能性があります。

- ・機器に組み込んで使用してください。
- ・室内専用機として使用してください。
- ・FP を組み込んだ機器には、オペレータが容易に操作できる位置に FP の電源を切断できるスイッチなどを設けてください。スイッチには電流・電圧を考慮したものを使用してください。
- ・FP を組み込んだ機器は EN60950-1 に適合した筐体構造にしてください。

梱包内容

梱包箱には以下のものが入っています。ご使用前に必ず確認してください。

FP 本体
(FP2650-T41)



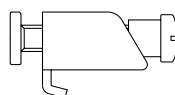
CD-ROM 1枚
(FP2650-T41 ユーザーズマニュアル)



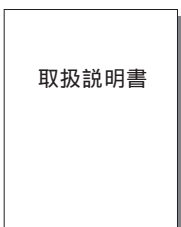
防滴パッキン 1個
(FP2650-T41 本体付属)



取付金具 4個1組



取扱説明書 日 / 英 各1部
(本書)



USB ケーブル抜け防止バンド 1個



品質や梱包などには出荷時に際し、万全を期しておりますが、万一破損や部品不足、その他お気付きの点がありましたら、直ちに販売店までご連絡くださいますようお願いいたします。

別売品

ケーブル類 タッチパネルドライバソフト メンテナンス品
詳しくはカタログをご覧ください。

マニュアルについて

付属の CD-ROM の [Manual¥Jpn] フォルダには、FP2650-T41 ユーザーズマニュアル (fp2650j) が PDF ファイルで収められています。

PDF ファイルを閲覧するには Acrobat® Reader が必要です。

Acrobat® Reader 5.0 のインストール方法

Acrobat® Reader は CD-ROM 内の [Reader] フォルダに入っています。

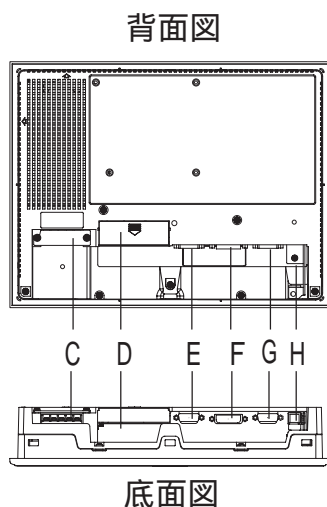
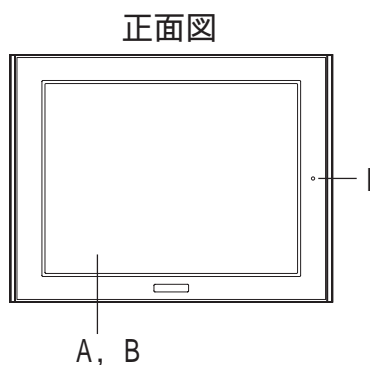
Windows® エクスプローラで [Reader¥Jpn¥ar505jpn.exe] ファイルをダブルクリックすると、ファイルが自動解凍されます。以下、画面に表示されるインストールの手順に従ってください。

Adobe および Acrobat はアドビシステムズ社の商標で、特定の法域で登録されています。

Acrobat® Reader Copyright © Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.

1 各部名称

FPの各部の名称を示します。



A: TFT カラー LCD

FP の表示出力部分です。ホストのデータを表示します。

B: タッチパネル

タッチした座標データを送信します。

C: 電源入力用端子台

電源ケーブルを接続します。

D: 設定スイッチ (ディップスイッチ) 用カバー

これを開けるとディップスイッチがあります。動作モードの設定を行うスイッチです。

E: アナログ RGB コネクタ

アナログ RGB のインターフェイス用コネクタです。

F: DVI-D コネクタ

DVI-D のインターフェイス用コネクタです。

G: RS-232C コネクタ

RS-232C (シリアル) のインターフェイスです。各種ホストの間でタッチパネルデータの送信およびFPへのコマンドなどに使用されるインターフェイス用コネクタです。

H: USB コネクタ

USB のインターフェイスです。各種ホストの間でタッチパネルデータの送信およびFPへのコマンドなどに使用されるインターフェイス用コネクタです。

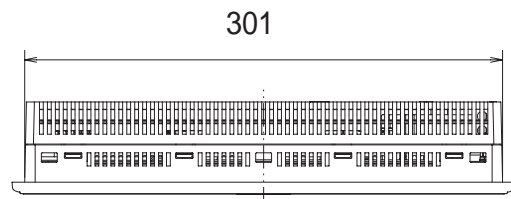
I: フロント LED

電源入力、バックライト管切れおよび画像信号入力の有無の状態を表示する LED です。

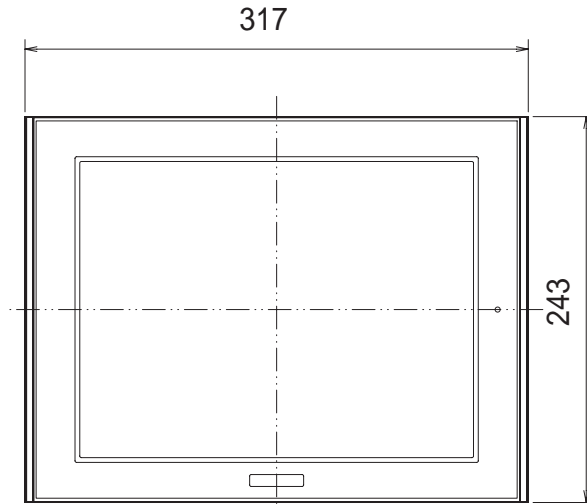
2 外觀圖

FP2650-T41

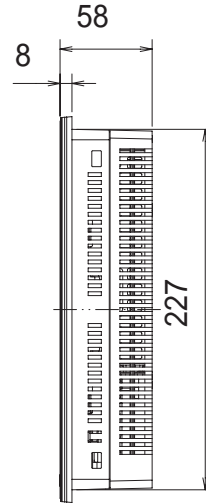
單位:mm



上面圖



正面圖



側面圖

3 ディップスイッチ

ディップスイッチの設定について示します。

ディップスイッチは本体底面にあります。

ディップスイッチは電源投入時の設定のみが有効です。設定を変更した場合は、FPを再起動する必要があります。



SW No.	機能	内容	出荷時設定
1-1	タッチパネル 通信方式設定	タッチパネルのデータ出力およびコマンド 入出力の通信方式を選択します。 ON : USB OFF : RS-232C (デフォルト)	全てOFF
1-2	OSD表示/非表示設定	OSD (On Screen Display) の表示/非表示 を選択します。 ON : 非表示 OFF : 表示 (デフォルト)	
1-3	予約	常時OFF	
1-4			
1-5	画像入力信号設定	画像入力方式を切り替えます。 ON : DVI-D OFF : アナログRGB (デフォルト)	
1-6	予約	常時OFF	
1-7			
1-8			

4 外部インターフェイス

アナログRGBインターフェイス

入力信号方式	アナログRGB
入力信号特性	映像信号：アナログRGB 同期信号：TTLレベル負極性または正極性 走査方式：ノンインタレース
画面調整機能 OSDによる設定	<ul style="list-style-type: none"> ・コントラスト調整 ・ブライツ調整 ・水平表示位置調整 ・垂直表示位置調整 ・水平サイズ調整 ・フェーズ調整 ・ディマー調整 ・デフォルト設定（オールクリア機能）

アナログRGB信号コネクタのピン番号と信号名称

ピン番号	信号名	内容	ピンコネクション
1	アナログR	R信号入力	
2	アナログG	G信号入力	
3	アナログB	B信号入力	
4	リザーブ	NC（予備入力）	
5	デジタルグラウンド	デジタル信号GND	
6	リターンR	R信号GND	
7	リターンG	G信号GND	
8	リターンB	B信号GND	
9	リザーブ	NC（予備入力）	
10	デジタルグラウンド	デジタル信号GND	
11	リザーブ	NC（予備入力）	
12	リザーブ	NC（予備入力）	
13	H. SYNC	水平同期信号入力	
14	V. SYNC	垂直同期信号入力	
15	リザーブ	NC（予備入力）	

適合コネクタ ミニ Dsub 15 ピンオス

コネクタネジピッチ .. インチ(4-40)

ケーブル 弊社製 アナログRGBケーブル

FP-CV02-45 (VGA仕様)

重要

- ・ 弊社製アナログRGBケーブルを使用せず、自作のケーブルを使用された場合にはノイズ等に対する動作の保証はできません。

DVI-D インターフェイス

入力信号方式	DVI-D
画面調整機能 OSDによる設定	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水平表示位置調整 ・ 垂直表示位置調整 ・ デイマー調整 ・ デフォルト設定（オールクリア機能）

DVI-D 信号コネクタのピン番号と信号名称

ピン番号	信号名	ピン番号	信号名	ピンコネクション
1	TMDS DATA2-	13	NC	
2	TMDS DATA2+	14	NC	
3	TMDS DATA2 SHIELD	15	GND	
4	NC	16	Hot Plug Detect	
5	NC	17	TMDS DATA0-	
6	DDC Clock	18	TMDS DATA0+	
7	DDC Data	19	TMDS DATA0 SHIELD	
8	NC	20	NC	
9	TMDS DATA1-	21	NC	
10	TMDS DATA1+	22	TMDS CLOCK SHIELD	
11	TMDS DATA1 SHIELD	23	TMDS CLOCK+	
12	NC	24	TMDS CLOCK-	

適合コネクタ DVI-D 24 ピンオス

コネクタネジピッチ .. インチ(4-40)

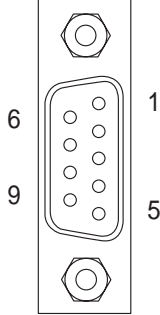
ケーブル 弊社製 DVI-D ケーブル FP-DV01-50<5m> FP-DV01-10<10m>

- 重要**・ 弊社製 DVI-D ケーブルを使用せず、自作のケーブルを使用された場合にはノイズ等に対する動作の保証はできません。
- ・ FP-DV01-100 は PS-2000B との接続時のみ使用可能です。FP-DV01-100 を使用する場合は PS-2000B 内部のディップスイッチを ON にしてください。（FP-DV01-50 を使用する場合は OFF にしてください。）

RS-232C インターフェイス

RS-232C インターフェイス	ボーレート	: 9600bps
	データ長	: 8ビット
	パリティ	: なし
	ストップビット	: 1

RS-232C (シリアル) インターフェイスコネクタのピン番号と信号名称

ピン番号	信号名	内容	ピンコネクション
1	CD	キャリアディテクト* ¹	
2	RD	受信データ (FP→HOST)	
3	SD	送信データ (FP←HOST)	
4	DTR	ターミナルレディ* ¹	
5	GND	グラウンド	
6	DSR	データセット可能* ¹	
7	RS	送信要求信号 (FP←HOST)	
8	CS	送信可能信号 (FP→HOST)	
9	NC	FP内部で使用	

*¹ CD、DTR、DSR はFP 内部で互いに接続されています。

適合コネクタ Dsub 9 ピンメス

コネクタネジピッチ .. インチ(4-40)

ケーブル 弊社製 RS-232C ケーブル FP61V-IS00-0

信号名について

FP の RS-232C インターフェイスは信号名をパソコン側にあわせ、パソコンと同ピン(ストレート)ケーブルで接続できるようになっています。

パソコンの信号名と同じ信号名のピンを接続してください。

<例> 2ピン RD パソコン側の RD に接続 (FP にとって RD は出力信号)

上表に示した (FP HOST) の矢印またはユーザズマニュアル「オプションケーブルピン番号」をご参照ください。

- 重要** ・ 弊社製 RS-232C ケーブルを使用せず、自作のケーブルを使用された場合にはノイズ等に対する動作の保証はできません。

USB インターフェイス

USB インターフェイスコネクタのピン番号と信号名称

ピン番号	信号名	内容	ピンコネクション
1	USB1-5V	+5VIN	
2	USBD1 (-)	USBデータ (-)	
3	USBD1 (+)	USBデータ (+)	
4	GND	グラウンド	

通信 ロースピードデバイス

適合コネクタ Bタイプコネクタ

ケーブル 弊社製 USBケーブル FP-US00

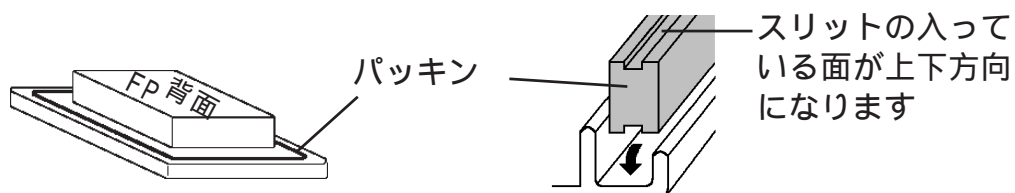
- 重要** ・ 弊社製 USBケーブルを使用せず、自作のケーブルを使用された場合にはノイズ等に対する動作の保証はできません。

5 取り付け

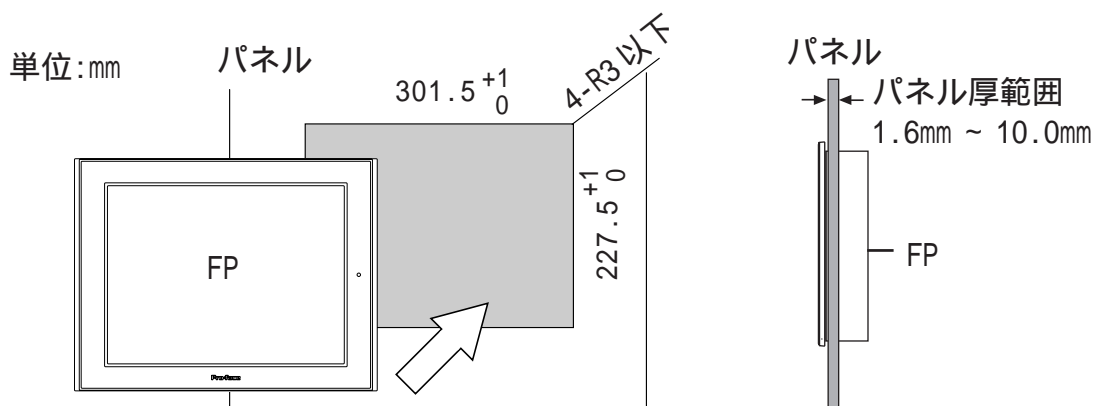
防滴パッキンについて

防滴効果を必要としない環境下でも、本体付属の防滴パッキンを必ず使用してください。FPを水平な台の上に表示面を下にして置き、背面部からベゼルの溝にきちんと装着してください。

- 重要** ・ 盤への取り付け前に、パッキンがFPに正しく装着されていることを必ず確認してください。
- ・ いったん盤から取り外し、再度取り付けたFPや、長期間使用した防滴パッキンではIP65f相当の防滴効果を得られなくなります。安定した防塵・防滴効果を得るために、防滴パッキンは定期的（年1回）またはキズや汚れが目立ってきた場合には交換してください。
 - ・ 適合する防滴パッキンの型式はGP570-WP10-MSです。
 - ・ FP本体のコーナー部分に防滴パッキンの継ぎ目を挿入しないでください。継ぎ目に引っ張る力が加わり、防滴パッキンがちぎれる原因となります。
 - ・ 安定した防塵・防滴効果を得るために、防滴パッキンの継ぎ目は表示部の下側にくるように、取り付けてください。

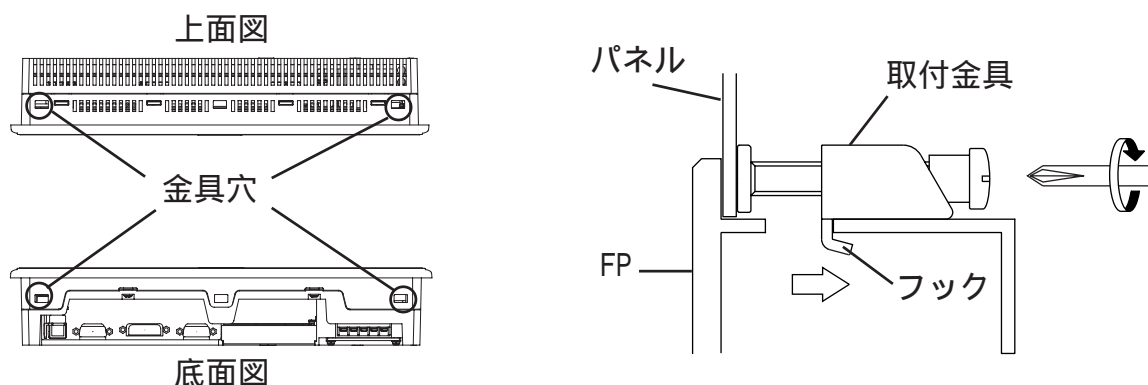


取付穴をあけ、パネルの前面からはめ込む



取付金具を背面から固定する

FPの金具穴のうち、下図に示す4カ所に取付金具のフックを入れ、4カ所のネジを偏りのないように対角の順で均等に少しずつ締めてください。



重要

- ・ ネジは強くしめすぎると、破損する恐れがあります。
- ・ 防滴効果を得るための適正しめつけトルクは0.5N・mです。



- ・ パネルの状態によっては、取付金具の数を増やすことにより、防滴効果を上げることができます。
- ・ 取付金具は、ユーザー交換用リペアパーツとして、弊社サービス・リペアセンター(TEL:(06) 6613-1638)にて別売しています。
適合する取付金具の型式はGP070-AT01です。

6 電源ケーブルの配線について

電源ケーブルを配線します。

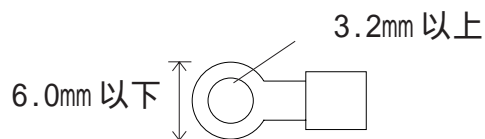
警告

- ・ 感電の恐れがありますので、必ず電源が供給されていない状態で接続してください。
- ・ FP は AC100 ~ 240V 入力専用です。仕様範囲外の電圧を供給すると、電源および本体が破損します。
- ・ FP 本体には電源スイッチがないため、ブレーカーを取り付けてください。
- ・ FG 端子は、注意事項を守って接地してください。FG 端子が適切に設置されないと、感電のおそれ（保護接地）や誤作動のおそれ（機能接地）があります。

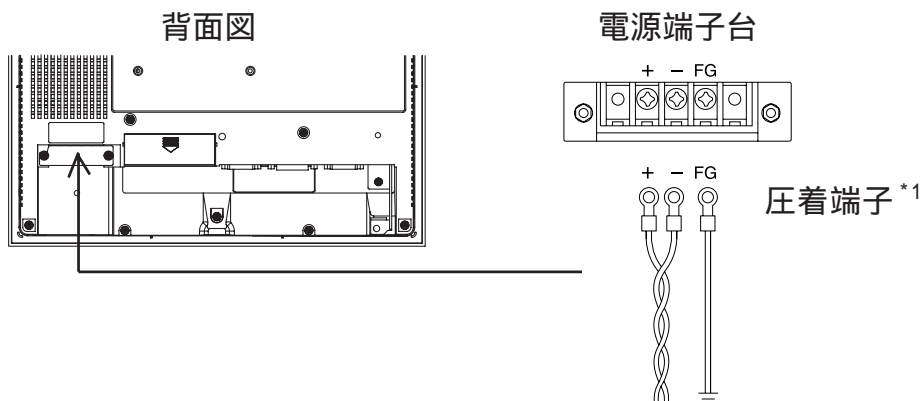
重要



- ・ FG 端子を接続した場合は、ノイズの影響を受けやすくなるので、必ずアースに落としてください。
- ・ 電源線は、できるだけ太い電線（最大 2mm^2 ）を使い、必ず端子先に近いところからツイストさせてください。
- ・ 端子寸法は、下記の条件のものを使用してください。



- ・ 圧着端子はネジのゆるみ時の短絡を防止するために絶縁スリーブ付き圧着端子を使用してください。



*1 推奨圧着端子：V2-MS3 相当 < 日本圧着端子製造(株)製 >

電源ケーブルは、以下の手順に従って接続してください。

通電されていないことを確認します。

端子台カバーをプラスドライバーで外します。

端子台の中央3カ所のネジを外し、圧着端子をネジ穴にあわせた後、ネジ止めします。



- ・圧着端子ケーブルを確認のうえ、正しい位置に取り付けてください。
- ・ネジの適正な締付けトルクは0.5 ~ 0.6N・mです。

端子台カバーを再取り付けします。

7 配線時の諸注意事項

電源供給時の注意事項

- ・電圧変動が規定値以上の場合は、定電圧トランスを接続してください。
- ・線間や大地間は、ノイズの少ない電源を使用してください。ノイズが多い場合は、絶縁トランス（ノイズカットトランス）を接続してください。
- ・FPの電源と入出力機器、および動力機器とは、系列を分離して配線してください。
- ・主回路（高電圧、大電流）線、入出力信号線、電源ケーブルは、束線、接近をしないでください。
- ・耐サージ仕様以上のサージ（誘導雷など）が発生する場合には、雷用サージアブソーバなどでサージを抑えてください。
- ・ノイズ対策のため、電源ケーブルはできるだけ短くしてください。

接地時の注意事項

- ・FPの背面にあるFG端子からの接地は、専用接地「接地工事はD種接地、接地抵抗100以下」としてください。

入出力信号接続時の注意事項

- ・入力信号線、および出力信号線は、動力回路のケーブルとは別の配線系統に布線をしてください。別の配線系統にすることが不可能な場合、シールドケーブルを使用して、シールド端を接地してください。

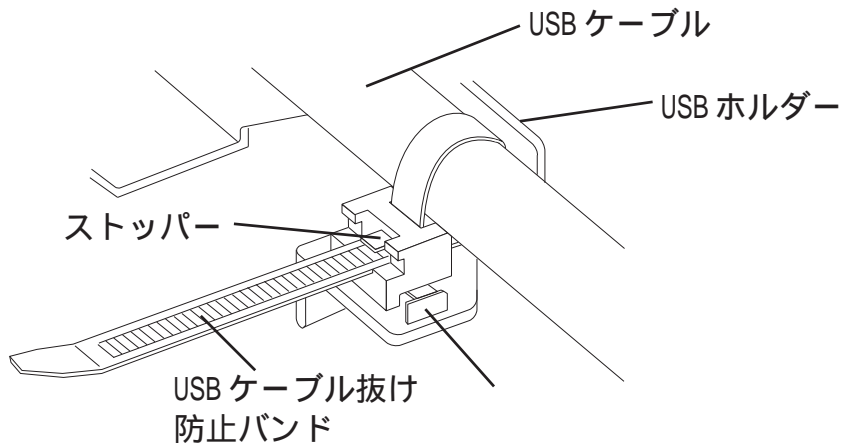
8

USB ケーブル抜け防止バンドの使用法

USBケーブルへの取り付け方法

USBケーブルをUSBコネクタへ接続します。

USBケーブル抜け防止バンドでUSBケーブルを結束し、本体側のUSBホルダーの丸穴にバンドの脚の部分を差し込んで固定します。(下図参照)



USBケーブルの取り外し方法

USBケーブル抜け防止バンドのストッパーをマイナスドライバー等で押し上げ、ロックをはずします。

USBケーブルを取り外します。

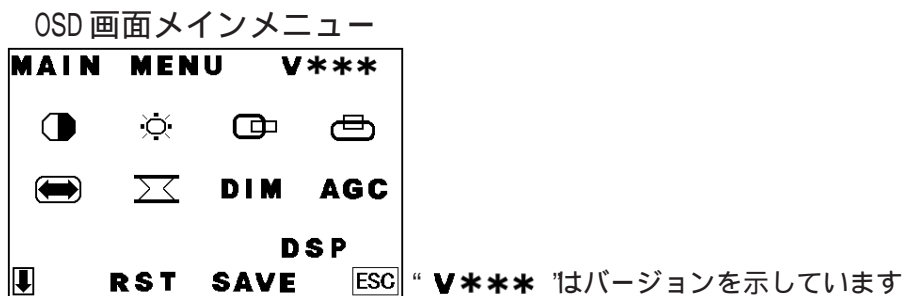


- ・ ストッパーを押し上げにくい場合は、図中の 部分を押ししてUSBケーブル抜け防止バンドをホルダーからいったんはずして作業を行ってください。

OSD 機能

FPは画面上に表示されたメニューをタッチパネルで操作して、稼動中であっても画像表示状態の微調整を行うことができます。この機能をOSD(On Screen Display)と称しています。

OSDで設定できる項目と機能を示します。



項目	機能	
	コントラスト調整	コントラストを調整します。(アナログRGBのみ) ^{*1}
	ブライトネス調整	色の明るさを調整します。(アナログRGBのみ) ^{*1}
	水平表示位置調整	画面の水平位置を調整します。
	垂直表示位置調整	画面の垂直位置を調整します。
	水平サイズ調整	画面の横方向サイズを調整します。(アナログRGBのみ) ^{*1}
	フェーズ調整	入力信号とドットクロックの位相を調整します。(32段階) (アナログRGBのみ) ^{*1}
DIM	ディマー調整	バックライトの明るさを調整します。(9段階)
AGC	オートゲイン コントロール	コントラスト、ブライトネスを自動調整します。 (アナログRGBのみ) ^{*1}
DSP	ディスプレイモード表示	入力画像データの解像度を表示します。
RST	OSD設定クリア(RESET)	OSDの設定値をデフォルト値に戻します。
SAVE	OSD設定の保存	現在の設定値を保存し、OSDを終了します。
	システム設定	クリック音などの設定をおこないます。
ESC	エスケープ	設定をキャンセルし上の階層の画面に戻ります。 メインメニューでは、OSDを終了させます。

*1 DVI-D入力の場合は、「DO NOT NEED SETUP FOR DVI D」と表示され、設定できません。

起動

タッチパネルの左上角、右上角、右下角を、この順番で5秒以内に押すと、OSDが起動しOSDモードに入ります。OSDモード中は、画面中央部に設定画面が表示されます。また、OSDモード中、タッチパネル入力は設定終了までOSDのみに使用され、外部には出力されません。



・ディップスイッチ SW1-2 が ON の場合、OSD は表示されません。

操作

OSDはウィンドウ上のアイコンをタッチして操作します。OSD起動直後にはメインメニューが表示されます。調整したい項目のアイコンをタッチすると、その項目のサブメニューまたは変更操作画面に移行します。変更操作画面では、◀▶のアイコンをタッチして調整を行います。調整結果を反映させるには、[SET]をタッチします。[SET]した値を保存するには、[SAVE]をタッチします。

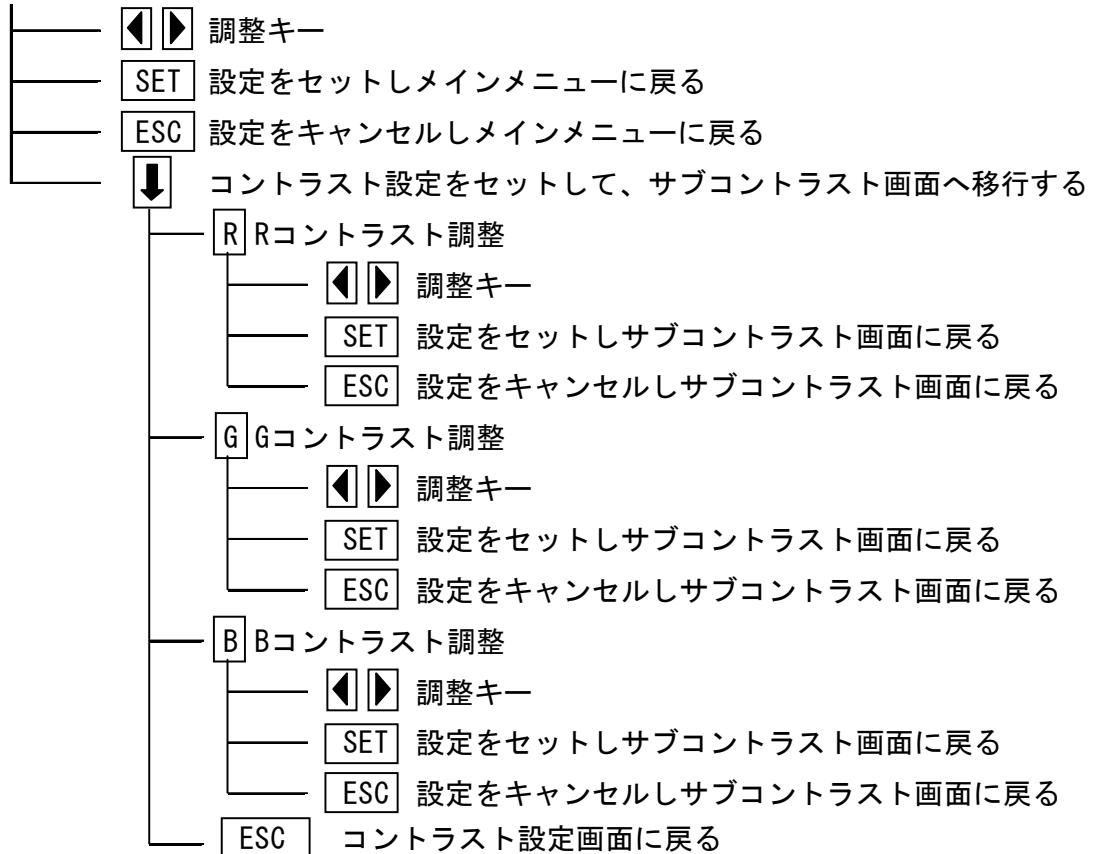
終了

メインメニューで [ESC] をタッチするか、各画面で30秒間以上何も操作せず放置すると、OSDは終了します。30秒間なにも操作せずにOSDを自動終了した場合、調整中の設定値はセットされています。

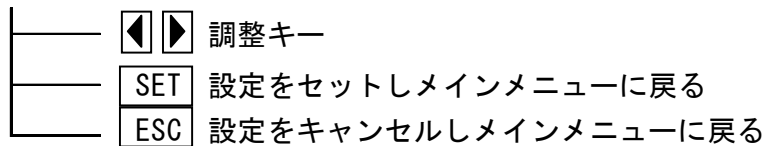
メインメニュー



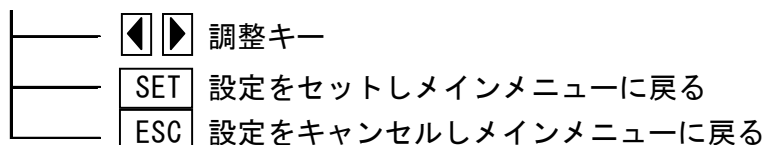
コントラスト



ブライトネス



水平表示位置





垂直表示位置

- 調整キー
- 設定をセットしメインメニューに戻る
- 設定をキャンセルしメインメニューに戻る



水平サイズ

- 調整キー
- 設定をセットしメインメニューに戻る
- 設定をキャンセルしメインメニューに戻る



フェーズ調整

- 調整キー
- 設定をセットしメインメニューに戻る
- 設定をキャンセルしメインメニューに戻る

DIM デイマー調整

- 調整キー
- 設定をセットしメインメニューに戻る
- 設定をキャンセルしメインメニューに戻る

AGC オートゲインコントロール

- オートゲインコントロールを開始し、自動的にメインメニューに戻る
- メインメニューに戻る

重要

- ・ オートゲインコントロールは、100% 白色であるエリアと 100% 黒色であるエリア両方を持つ画面が表示されている状態で実行してください。

DSP ディスプレイモード表示

- メインメニューに戻る

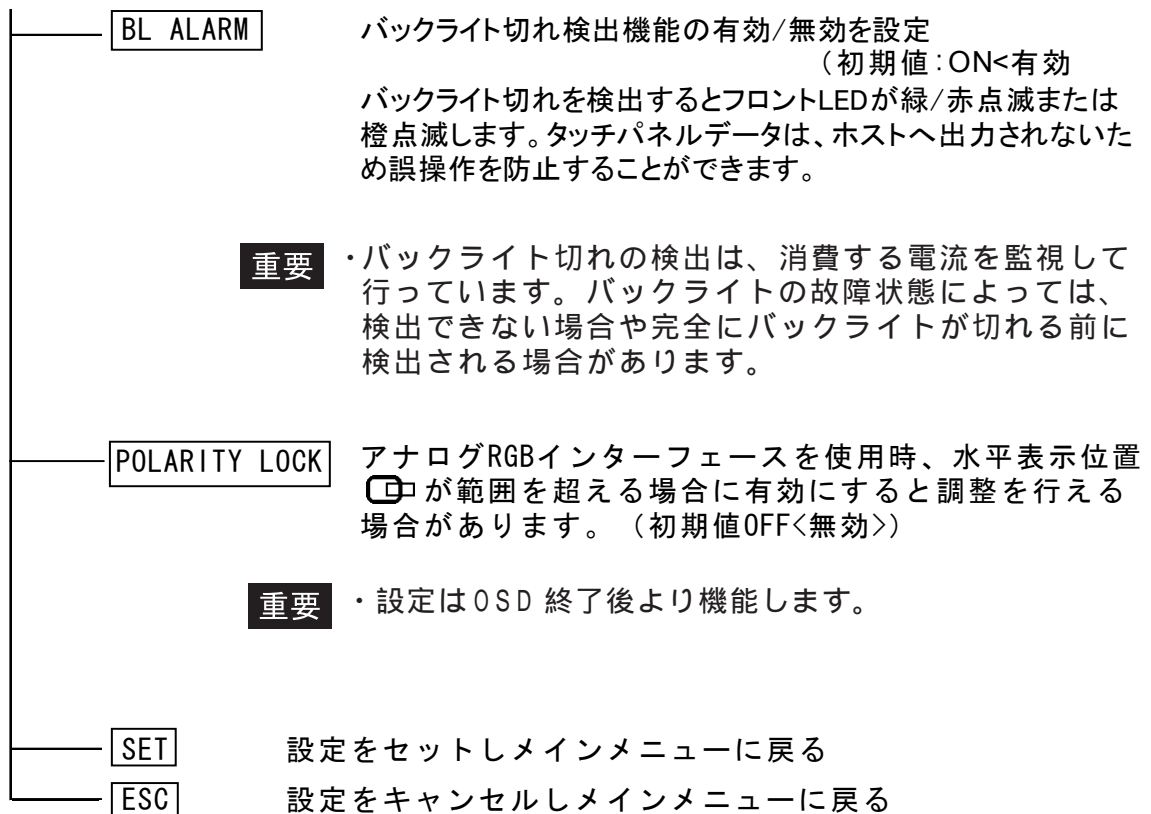
RST OSD設定クリア

- クリア開始
- メインメニューに戻る



システム設定

- 画面タッチ時にクリックブザーを鳴らすか鳴らさないか、また鳴らす場合には音を高音にするか低音にするかを設定
(初期値: OFF<鳴らさない>)
- VGAテキストモードの入力データ解像度が720×400の場合はON、その他の場合はOFFに設定
(初期値: OFF)
- 画面表示のオートOFF機能の有効/無効および有効の場合の時間を設定
(初期値: OFF<設定しない>)
表示のオートOFF機能とは、画面の焼き付き防止に、タッチパネルが一定時間操作されない場合には表示を自動的に消す機能です。タッチ未検出により表示が消えるまでの間隔(どのくらいタッチされないと画面を消すか)を設定します。
設定した時間タッチパネルが操作されないと、バックライトが自動的にOFFになります。1M(分), 3M, 5M, 10M, OFF(設定しない)のうちから選択します。



・システム設定では、設定項目をタッチするたびに値が切り替わります。

SAVE SAVE ——— 全調整項目の設定をEPROMに保存します。

- 重要**
- OSDでは、**SET** をタッチするごとに、そのときの設定値をSETすなわち保持します。この値は電源を切るかリセットがかかるまで保持され、有効です。設定変更後、SAVEしないで電源を切ると、保持データは消えます。起動時には最後にSAVEされたデータのみが読み出されます。変更した設定値を有効にする場合には必ずSAVEをタッチしてください。
 - OSD調整中に30秒間何も操作されず、OSDが自動的に終了となった場合、そのとき調整中であった項目に対する設定値は保持されています。**ESC**で終了した場合には、調整中の項目に対する設定値はキャンセルされ、最後にSETもしくはSAVEされた値が設定値となります。

10 バックライトの交換

FPは、バックライトの交換が可能です。
交換方法については、ユーザズマニュアルまたは交換用バックライト(別売)に添付の説明書をご覧ください。

適合するバックライトの型式

本体	バックライトの型式
FP2650-T41	CA5-BLU12XGA-01

- 重要** ・ 適合しないバックライトは使用しないでください。
事故や故障の原因となります。

お断り

本製品を使用したことによるお客様の損害その他の不利益、または第三者からのいかなる請求につきましても、当社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

株式会社 デジタル

〒559-0031

大阪市住之江区南港東8-2-52

TEL：(06)6613-1101(代)

FAX：(06)6613-5888

URL：<http://www.proface.co.jp/>